

日本産酒類のオンライン商談会

日本産酒類の輸出に取り組む者の更なる拡大を目的として、輸出の経験の無い者でも手軽に参加ができるよう、日本にいながらにして海外バイヤーと商談を行っていただくための「オンライン商談」を実施する。

※ 言語や輸出手続きについてのサポートの観点から、適切な中間流通事業者と連携できるよう、日本産酒類輸出促進コンソーシアムの枠組みも活用することを検討。

【実施方法】

- 商談の成功率を上げるため、海外バイヤーと参加事業者のニーズを事前に把握し、マッチングに活用する。
- 海外バイヤーに事前に酒類サンプルを送付した上で、オンラインコミュニケーションツール「ZOOM」などを使用した商談会を実施。（通訳者付）
- 商談会への参加は無料。

【本年度実施するオンライン商談会のポイント】

- 海外バイヤーは、現地の特定市場で有力なシェアを有する企業のほか、少量高付加価値の酒類の取り扱いを希望する者など、多様なニーズを有するものを選定する。
海外バイヤーの選定は、酒類輸出コーディネーターからの推薦も活用する。
- 事業者が参加しやすいよう、日本産酒類輸出促進コンソーシアムの枠組みを活用し、国内での売買取引と同等の手順により輸出ができるような仕組みの構築を目指す。

【実施期間（予定）】

- 令和3年11月頃から2月頃までに合計3回実施。
実施に当たっては、海外バイヤーリストを公表した上で、参加事業者を募集する。

